

第13回 障害者の情報・コミュニケーションに関する協議会 議 事 概 要

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月16日付で書面会議を行った。
委員から提出された意見等は以下のとおり。

○議 事

(1) 障害者の情報取得及びコミュニケーションに関する施策について 令和2年度の実施報告と令和3年度の概要

令和2年度の実施報告		
No.	委員意見等	事務局より
1	手話講習会には、初級・基礎・応用とありますが、基礎のことがよくわかりません。中級とは違うのですね。	ご指摘があったことを事業の委託先に伝え、手話講習会の名称について協議します。
2	要約筆記者（PC）養成講習会は、「委託先の指導者不足のため休止」とありますが、令和2年度は、“コロナの影響で開催時期を延期して調整していたが、結局中止になった”と聞いています。ご確認をお願いします。	令和2年度の要約筆記者（PC）養成講習会は、資料に記載のとおり、「（新型コロナウイルス感染拡大の影響による）委託先の指導者不足のため休止」としました。
3	コロナ禍で、この報告の状況は致し方ないと思う。	コロナ禍が一日も早く収束することを願います。
令和3年度の概要		
No.	委員意見等	事務局より
4	本年度の計画は、従来からの方針で計画されており、よいと思う。	今後も、障害者の情報取得及びコミュニケーションが円滑に行われるよう、施策を推進します。
5	要約筆記者養成講習会が令和2年度・3年度と、2年連続で中止となっている。 支援者が不足しているため、別の委託先を探す等、開催できるように検討すべきではないか。	資料の記載が間違っていました。 令和3年度の要約筆記者養成講習会は、10月から開催予定です。

6	以前から要望していますが、市総合福祉会館の会議室・ホールに電子情報掲示板の設置をお願いしたいです。	同様の要望を令和4年度の市の予算要望として聴覚障害者団体からいただいています。庁内で情報を共有し、来年度の予算編成にて検討します。
○失語症者向け意思疎通支援者の派遣について		
7	意義があると思われます。利用ニーズとともに、今後の動向が気になるところです。	<p>今後は、利用者の声を聴きながら、よりよい支援になるよう努めていきます。</p>
8	まさに福祉向上、共生社会の実現に向けてのさらなる一歩だと思えます。	
9	新しい試みとして、関係者（家族・支援者等）への内容等の説明があると、より効果が上がると思う。	
10	<p>神奈川県での、事業開始から今までの養成及び実際の活動人数（延べだけではなく、養成後の登録・実際に活動している人数）、派遣実績、派遣状況（内容や場所）、報酬額や待遇（身分保障）の状況を知りたいです。</p> <p>また、横須賀市でどの程度の派遣数や報酬額及び待遇を想定しているのか、どこが派遣先（コーディネーター）になるのか知りたいです。</p>	<p>神奈川県で行う事業の実施状況は把握していませんが、失語症者向け意思疎通支援者の派遣は、障害者総合支援法による地域生活支援事業として、今年度から中核市でも必須事業となったため、神奈川県で行う事業に分担金を負担して参加することとしました。市内にどの程度の需要があるのか、現時点ではわかりません。</p> <p>なお、支援者の派遣は、この事業の委託先である神奈川県言語聴覚士会が行っています。</p>
○その他		
11	支援者不足是正のためにも、オンラインで実施が可能な支援者講習は可能な範囲で実施してほしいです。	<p>市が主催する手話通訳者養成課程では、今年度も一部オンライン講座を実施しています。</p> <p>オンライン開催の可否は、講師と受講生の状況をみて判断します。</p>

12	初心者向け要約筆記教室の開催時期（予定）は、PCについては、7月19日・26日に終了しており、手書きは、来年2月14日・21日に開催予定です。ご確認をお願いします。	ご指摘ありがとうございます。資料の記載が間違っていました。 正しくは、ご指摘のと通りの日程です。
----	--	---

（２）災害時の障害のある方への配慮とサポートについて（案）

No.	委員意見等	事務局より
○タイトルについて		
13	初版のガイドブックは「障害のある人…」ですが、ガイドブック2は「障害のある方…」となっています。	このガイドブックでは、「障害のある方」に統一します。
○内容について		
14	イラストや色は、わかりやすくよいと思う。視覚障害の方によっては、見にくい色がある場合もあるので、確認が必要。	色については、点字図書館を通じ、視覚障害者の方々にも確認いたします。
15	内容と表示は整ってきたと思う。	ご意見等をいただき、今後、さらに内容を整えていきたいと考えています。
16	一次避難所に対する明確さ、よくわかりました。ただ、二次・三次福祉避難所の説明があるとよいのかなと思いました。	市民への障害者理解を深めるため、このガイドブックは、自治会、町内会など地域住民の方々を中心となって運営する1次福祉避難所を念頭において説明しています。
17	聴覚障害（P. 5）について以下のように変えてはどうでしょうか。 ・「正面から」 →「視線を合わせてから」 ・「音声だけでは…わかりません」 →「防災無線や緊急放送、また避難所での放送や呼びかけ等の音声情報ではまったく伝わりません」 ・「大切な情報や予定は」 →「放送内容や予定情報は、」 最終版ができたなら、まず、委員全員に確認をお願いしたい。	横須賀市聴覚障害者協会からいただいた意見をもとに文案を作成していますので、再調整が必要です。

○頒布方法について	
18	各町内会・自治会長、民生委員、市役所、各行政センター、サポートセンター、学校・病院・診療所、薬局、消防署、商店、公共乗り物等
19	各障害団体にも配布し、他障害の理解・支援につなげるとともに、団体からの市民への配布もよいと思う。
20	障害者の関係団体や地域活動（自治会・地区防災）での活用を期待したい。テキストを配布するとともに、インターネットで入手できるようにすればよいと思う。
○その他	
21	本テキストと先に作成した「共生社会の実現のために～障害のある人を理解するためのガイドブック～」と関連があることを明示し、両テキストが合わせて活用されることを期待したい。
22	可能な限り、市民に広く理解してほしい。ガイドブックを作成・配布して終わりではなく、サポート内容を理解し、実際に行ってもらえる（実際に行っていることに理解してもらえる）ように、実際の様子（模擬的な様子）がわかるように周知をしてほしい。
23	地域の防災担当者（避難場所に行く職員・町内会の防災担当者）に障害及びサポート方法の理解をしておいていただきたい。避難訓練の際には、実際に紙に書いて掲示（配給・トイレの位置等）をしたり、医者や看護師との連携を確認する等より実際に近い形で行ってほしいと思う。
24	災害時避難場所に配付保管しておいて、避難中に参考となるようにしてほしい。
25	災害時の障害者へのサポートの仕方、また、理解への指針、大いに有意義です。

今後、いただいたご意見をもとに、市民の障害者理解がより一層深まるよう、ガイドブックの周知、頒布、活用等について防災部局とともに検討します。

(3) 新型コロナウイルス感染拡大に関連して、障害特性から意思疎通が困難になった事例について（意見聴取）

委員意見等	
26	構音障害があり発話不明瞭の方が、マスクをつけているため会話がさらに聞き取りにくくなり、何度も聞き返すことが増えている。
27	法人内には聴覚障害がある利用者もいるが、手話で話していても「（口形が見えないので）マスクを外してほしい。」と言われることがある。感染予防から安易にマスクを外すことは避けたいが、工作中常に透明マスクを持ち歩いているわけではないため、その方とのやりとりの時だけ透明マスクに変えることも状況的に難しい。お互いに口形が見えないと、細かい内容把握が難しいこともあるため、結局は外している（他の職員は状況を理解してくださっている）。
28	意思疎通が困難になった事例はみないが、日常活動への制約が多く、闊達な活動ができないことから、通所意欲の減退等の事例がみられる。 （通所施設での活動・多くの仲間との共同の活動・ヘルパー支援による社会参加活動等の機会減）
29	コロナウイルスワクチンの予約で、電話が使えない難聴者の予約のためのFAX設置が決まるまでの経緯が大変だった。

→いただいたご意見等は、今後の障害者施策推進の参考とさせていただきます。